

空き店舗の活用について



也 幹 武 議員

市の高齢化率は、平成20年、19・5%、平成25年、23・9%と急速な高齢化が推定されます。また、厳しい経済状況により、毎年、空き店舗が増加している状況です。

そこで、空き店舗を活用し、高齢者が商店街に集まり、交流が図れ、商店街の活性化につながる、「まちの駅」の設置について伺います。

また、赤ちゃんの駅といった子育て世代等との交流機能を持たせ、さらに、観光情報やPR、窓口案内機能を持たせた「まちの駅」や、まちの駅の核となる市の施設への設置に対する考えを伺います。

○環境経済部長

商店街の活性化、地域コミュニティの再生という観点から、まちの駅の有用性は認識しています。空き店舗を活用するのか、既存の店舗や公共施設とするのか等、設置・運営方式を含め先進事例を研

究し、商工団体等とも十分に協議し、検討していきます。

○市長

商店街のにぎわいの創出や魅力ある地域社会づくりを推進していく上で、有効な手法の1つと考えています。今後、運営主体や効果等を十分に検証し、関係団体と連携を図りながら検討していきます。

このほか

○安全・安心のための「見守り隊」について
○ユニバーサルデザインについて

○埼葛斎場へのアクセス道路整備について

各商店街の活性化の方策は



元 正 内 竹 ノ 議員

春日部のまちづくりとして、にぎわいのあるまちを目指すには、市外の方だけに目を向けるのではなく、市民の皆さんを集客できる事業を展開し、商店街の活性化をすべきと考えます。そこで、小中学生の絵を各商店に展示してもらい、「まち中美術館」を実施

してはどうでしょうか。

まち中に、地域に根差した絵が描かれ、地域とのコミュニティの橋渡しとなり、商店街に活気が戻ると考えます。教育委員会や観光協会、各商店街の協賛で、春日部全体が美術館といったプロジェクトを実施してはいかがでしょうか。

○環境経済部長

商店街での「まち中美術館」は、商店街に地域住民を呼び込むため有効な手法と考えられます。商店街の来訪の機会となり、商店街の良さを知らせてもらい、消費拡大にもつながると期待します。実施に向けては、商店街の意向を踏まえ、商工団体や教育委員会等と協議していきます。

○学務指導担当部長

児童・生徒の作品を商店街に展示することは、児童・生徒の学習意欲の向上や、絵を通じた地域との交流も深まり、教育的意義は大変大きいと思います。今後、商店街などの意向を踏まえ、協力していきたいと考えます。

このほか

○AEDの普及と無償貸し出しについて
○記章について市長と執行部の考え方

武里団地について



子 山 片 議員

市は総合振興計画の中で、魅力ある良好な住環境の整備促進として「緑豊かな武里団地の住環境を維持し、多様な世帯が、安心して暮らせる活力あるコミュニティを目指す」としています。

都市再生機構では、国や自治体、地元の住民と、高齢者や子育て世帯への支援はどのようなものが必要かを協議し、団地の再生を図る「安心住空間創出プロジェクト」に着手しています。

団地再生が示されている今、市が都市再生機構とプロジェクトを立ち上げることで、魅力的なまちづくりが展開されると考えますが、いかがでしょうか。

○都市整備部長

武里団地地区まちづくり庁内調査委員会を設置し、センターゾーン、文教・公益施設ゾーン、居住ゾーン等の土地利用構想を検討し、都市再生

機構に提案しています。

今後、都市再生機構にも参加していただき、居住、商業、コミュニティ活動等が充実した、幅広い年代で住み続けることのできる団地再生を目指してまいります。

提案のプロジェクトは、この委員会の中で検討する考えです。

このほか

○地域公共交通再編計画について
○保育所・放課後児童クラブの待機児童対策について
○定額給付金の給付状況について



武里団地

官製ワーキングプアをなくせ



秋山 文和 議員

経済危機の下で企業が非正規切りを進めており、誰もが人間らしく働ける労働のルールを確立することは、緊急の課題です。

市においても、嘱託職員、臨時職員といった非正規職員を多く採用しています。

しかし、一般事務の臨時職員で、時給750円と低い賃金で労働しており、働く貧困層に、果てしなく近い状況です。

また、保育士など専門的な職種の非正規職員は、正規職員化を進めるべきだと考えますがいかがでしょうか

○総務部長

嘱託職員の場合、フルタイムに勤務して、月給14万9800円と通勤手当や期末勤勉手当が支給されます。

また、臨時職員の場合は、1日5時間のパートタイム的な勤務で、ライフスタイルに合った就業機会の提供に努め

ているものです。

ただし、時給は近隣市よりも低い状況で、時給の改定については、検討していく必要があると考えています。

○福祉健康部長

非正規職員の採用は、主に保育士の出産、育児等による休職者の代替として一時的に採用しています。

また、研修の実施や職員会議への参加も、必要に応じて行い、情報の周知や意見交換をしています。

このほか

○市内商工業の活性化について

公共施設の利用について



山崎 進 議員

市内の犯罪件数は、平成19年に4703件、平成20年は5189件と増えており、非常に心配しています。

最近では、防犯活動ボランティアのパトロールなど、防犯意識が高まりつつあります。

しかし、犯罪発生時に一番頼りになるのは警察であり、

交番ですが、大枝地区から東武野田線までの国道4号線側は、交番が1つもありません。

春日部消防署備後分署の一部に、交番を設置できないか伺います。

また、防犯パトロールや子ども見守り隊など、ボランティアで防犯活動を行っている方の地域コミュニケーションを図るため、公共施設である消防署、公民館、集会所の一部を利用して、防犯ボランティアの拠点施設がつかれないか伺います。

○市民部長

埼玉県警察では、近年、交番の新設は行っておらず、再編整備により統廃合が進んでいます。しかし、住民の安心安全のため、交番設置が重要であることから、設置の要望を行い、また、要望地域のパトロールの強化等を依頼してまいります。

ボランティアの拠点施設については、施設の本来の業務に支障を来す恐れがあり、長期的に占有する使用は、現状においては難しいと考えています。

このほか

○環境について
○財政について

誰もが安心して利用できる介護制度へ



村松 君子 議員

介護保険制度が始まってから、この4月で10年目となりました。10年を迎えるの見解と、認定制度への見解を求めます。

政府は、毎年2200億円の社会保障費を削減し続け、今年も認定の見直しで介護度を下げようとしています。その結果、「介護の取り上げ」があり、サービスが必要でも十分に受けられないなど、市民は苦しめられてきました。

当面は「経過措置」で、今回の認定の見直しは利用者の希望を聞いてとまっているようです。今後の対策を求めます。

介護労働者が劣悪な労働条件のために定着できず、無念の思いで現場を去っていく状況です。経験の蓄積や専門性の継承のためにも、他市事例のように、介護労働者への直接的な支援を求めます。

介護保険の保険者は「市」であり、ここに住む高齢者が

安心して住み続けるために、市としての対処と、さらなる低所得者への対策を求めます。

○健康保険担当部長

介護保険制度の持続のために、新予防給付制度等が考えられたものと考えます。認定制度については、今後を注視してまいります。

○市長

低所得者対策等については、国に要望してまいります。

このほか

○生活福祉貸付金の拡充を
○保育所看護師配置について



国が進める農工商等連携事業に
認定された「庄和黒豆の
ブランド化推進事業」について



大山 利夫
議員

今年3月に、道の駅庄和と地元農家や庄和商工会などが推進した庄和黒豆のブランド化事業が、農林漁業者と中小企業の連携による事業として、国から認定されました。特に、商工会と連携した取り組みの認定は、当市の黒豆が全国初で、今後の動向が注目されています。そこで、庄和黒豆のブランド化推進事業は、休耕田の活用と耕作放棄地の解消につながるものとして、栽培を庄和地区だけでなく、市内全域で栽培に取り組み提案とブランド化推進事業に対する市の支援策を伺いたい。

○環境経済部長

今後の支援策は、黒豆の生産拡大を市内全域にできるよう推進していきます。さらに、販路や商品開発の拡大を、商工団体と連携を図りながら、各種イベント等を活用したPR活動を支援していきます。

○市長

農業や商工業の新たなビジネスモデルである農工商等連携事業について、今後も積極的に支援していきます。

このほか

- 小1プロブレムの対応策と豊野地域の小学校通学区域の見直しを提案するについて
- 3人乗り自転車の助成制度の導入を提案するについて
- 小学1年生に本を贈るセカンドブック事業の導入
- 百歳以上の医療費個人負担分を免除する制度の導入を
- 消防団協力事業所表示制度の導入及び普及策と優遇策
- 市長公用車の廃止を提案



上野長宮線の
延伸について



山口 保
議員

都市計画マスタープランに、上野長宮線の延伸を住民参加で策定するという答弁を以前いただきました。その後の動向について伺います。

また、増戸地区の延伸に関する協議と整備の推進状況、地区内へ通過交通の流入への安全対策について伺います。

○都市整備部長

アンケートや説明会等を開催し、地域の皆様の意見を確認し、都市計画マスタープランの作成をしていきます。

○建設部長

県では、周辺道路の整備状況等を踏まえ、整備を検討しますので、優先整備を要望していきます。

また、岩槻区南平野土地区画整理事業地内の整備は、平成21年度施行予定と伺っています。通過交通の増加対策については、影響を確認して、発生要因や課題を検証し関係機関へ強く要望していきます。

○市長

市域を超える幹線道路であり、従来からの経緯を踏まえ、引き続き関係機関へ要望していきます。

このほか

- 市内バスの運行について
- 南中曽根、見晴屋前交差点信号機設置の件
- 市道2-21号線、下大増用水路ふたかけをして、歩道建設整備について
- 豊春駅前通り歩道の中心にある電柱移設並びに分離帯布設について
- 花積地区、岩槻区隣接のU字溝整備について

陳情

○第1号

(仮称)庄和図書館の運営を直営の公務員で行うことを求める陳情

今定例会の日程

5月29日

開会、公有財産有効活用検討特別委員長中間報告、議会基本条例等調査特別委員長報告、議会基本条例等調査特別委員会の終結、正副議長選挙、議案第40号か

閉会中の委員会活動

▽議会基本条例等調査特別委員会

4月13日
・議会基本条例の枠組みと個別事項のまとめについて
4月22日
・付託案件ごとの意見整理とまとめについて

ら議案第56号までの上程・説明、諮問第1号の上程・説明・質疑・討論・採決、議案第45号並びに議案第46号に対する質疑、総務委員会、総務委員長報告とそれに対する質疑、議案第45号並びに議案第46号に対する討論・採決、議案第57号の上程・説明・質疑・討論・採決

6月2日
議案に対する質疑
6月4日
常任委員会
6月8・9・11・15・16日
一般質問
6月18日
常任委員長報告とそれに対する質疑、各議案並びに請願に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

次の定例会は 8月24日(月) 開会予定です

- 5月15日 ・最終報告書のまとめ
- 5月21日 ・最終報告書のまとめ
- ▽公有財産有効活用検討特別委員会
- 5月14日 ・特別委員会の運営について
- 6月29日 ・市が所有している土地についての説明、現地視察
- 7月1日 ・公有財産使用状況調査に対する質疑
- ▽議会運営委員会
- 5月25日 ・平成21年6月定例会運営について
- 7月3日 ・平成21年第1回(7月)臨時会運営について
- ▽議会だより編集委員会
- 6月19日 ・議会だより第16号の発行について
- 7月9日 ・議会だより第16号の発行について

市議会ホームページの案内

市議会のホームページでは、議員名簿、会議日程、一般質問発言通告一覧表などを掲載しています。

また、会議録の閲覧・検索や、インターネットによる本会議生中継・録画中継で、議会の様子をご覧いただけます。

●市議会ホームページアドレス
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

当市への視察状況(平成20年度)

来庁日	来庁議会	視察内容
5月14日	光市議会 (山口県)	春日部市立病院における日本医療機能評価機構の認定と公営企業健全化計画について
5月29日	諫早市議会 (長崎県)	電子自治体について
6月26日	加古川市議会 (兵庫県)	児童館運営事業について
7月2日	鈴鹿市議会 (三重県)	総合評価方式の入札制度の取り組みについて
7月15日	佐賀市議会 (佐賀県)	総合福祉窓口の運用及び取り組みの状況について
7月22日	関東若手市議会議員の会	(1)首都圏外郭放水路について (2)粕壁三丁目A街区再開発事業について
10月9日	松伏町議会 (埼玉県)	議会広報紙編集について
10月29日	府中市議会 (広島県)	市立病院経営について
1月19日	越谷市議会 (埼玉県)	春日部市立病院の経営について
1月21日	小樽市議会 (北海道)	春日部市立病院について
1月29日	旭川市議会 (北海道)	(1)国民健康保険について (2)小規模修繕業者登録制度について

合計	18	16	15	11	9	8	6/2	5/29	月日	今定例会傍聴状況
161	2	30	44	17	19	32	5	12	傍聴者数	
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	質疑	上程・説明	主な日程	

傍聴して一言

真剣な討議に、市政に対する議員、市関係者の真摯な姿が理解できました。もっと身近な市政となるために、市民の努力が必要と思います。

男性69歳

議員が長年取り組まれている事項に質問されている熱心さに頭が下がります。1つのことを、実現するまで頑張っていました。

女性67歳

課題は集中討論、一問一答で問題を明らかにし、対策を具体化する必要があると思う。聞いていると「質問した」、「答弁した」だけ。市民にとって、議会終了から、どう具体化するかが見えてこない。

男性62歳

現場の声を十分理解した上での質問で、大変共感しました。それに対する対応を、もっと前向きにとらえていただきたいと思います。

女性53歳

※割愛させていただいた部分もあります。

編集後記

冷房なしには過ごせない日が続いていますが、春日部市議会では、6月定例会にて新たな正・副議長が就任し活発な活動を展開しています。

議会だより編集委員会も、市民の皆様が議会の活動や市政の動きを身近に感じられるよう頑張っています。

暑さもあとしばらくです。残りの夏を元気に楽しく、お過ごしください。

議会だより編集委員会

- 委員長 村松 君子
- 副委員長 鬼丸 裕史
- 委員 岩谷 一弘
- 委員 滝澤 英明
- 委員 片山いく子
- 委員 石川 勝也
- 委員 阿部 喜一
- 委員 栗原 信司
- 委員 大山 利夫
- オプザーバー
- 議長 河井 美久
- 副議長 鳴島 武

〒344-8577

埼玉県春日部市中央6丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116